

平成 29 年度 第 48 回千葉県中学校新人バスケットボール大会 総評

千葉県小中学校体育連盟他主催、千葉日報社他後援の第 48 回千葉県中学校バスケットボール新人体育大会は 10 月 29 日（日）、11 月 4 日（土）、5 日（日）の 3 日間、国府台市民体育館をメイン会場とした 5 会場で行われた。

男子のベスト 4 には、成田市立西中学校、松戸市立第一中学校、船橋市立葛飾中学校、y 田千代松陰中学校が名を連ねた。準決勝は、両地区の夏の総体でも活躍が見られた成田西 vs 八千代地区の八千代松陰、船橋地区の名門葛飾 vs 松戸一の対戦となった。準決勝は 2 試合とも予想通りの大激戦となったが、圧倒的な高さを見せた八千代松陰とエースを擁する松戸一との決勝戦となった。

男子決勝は序盤、八千代松陰⑤石渡が速攻、⑨大橋、⑩新井がゴール下で順調に加点。対する松戸一も⑦山崎にボールを集め、ゴール下と、ストップジャンプシュートで対抗。2 Q、八千代松陰は⑥三上、⑨大橋が得点を次々と重ねリードを奪う。

後半に入り、松戸一は粘り強いディフェンス、リバウンドからチャンスを作る。八千代松陰も④金田と⑬坂本の 2 on 2 を巧みに生かし得点を伸ばす。粘りを見せた松戸一は⑧渡邊のスリーポイント、⑤兎澤と⑦山崎の 2 on 2 など粘る。4 Q 八千代松陰⑤石渡がけがの処置をしてコートに復帰、奮闘する。松戸一も、最後まで逆転を狙ってボールに食らいつくも、そこで試合終了。八千代松陰が 3 年ぶりの優勝を飾った。

一方女子のベスト 4 は、激戦区、そして開催地区の活躍が目立った。新人戦 11 連覇を狙う市川・浦安地区の昭和学院中学校、地区予選でのリベンジを誓う市川市立第三中学校、市川市立第七中学校、そして、君津地区としては初のベスト 4 を果たした翔凨中学校が肩を並べた。準決勝は昭和学院 vs 翔凨と、市川三 vs 市川七の対戦カードとなった。決勝には、高い得点力を誇る選手のいる昭和学院と、粘り強く戦う市川三が進出した。

決勝戦は、序盤、昭和学院④花島、市川三④石橋の両エースが 1 on 1 を果敢に仕掛ける。昭和学院⑦エズコ、⑥小出のドライブから立て続けに得点。対する市川三は⑥田丸がスリーポイントやインサイドでの巧みな合わせで加点。一進一退の攻防が続く。

後半、市川三は⑥田丸、④石橋の 1 on 1 から得点を重ねて食い下がる。対する昭和学院も⑦エズコ、⑩大城が速い攻めから巧みにシュートを沈め、追隨を許さない。市川三は⑥田丸のドライブ、⑦熊谷のハイポストシュート、粘り強いディフェンスで追いつこうと粘るも、そのまま試合終了。昭和学院が千葉県での不敗記録をさらに伸ばした。

今年度の新人大会は、昨年度、下級生ながら活躍していた選手の成長を見ることができる大会であった。さらに、全国レベルのバスケットを経験している選手の活躍も見られ、見ごたえのある試合も多かった。今後、出場したチームはもちろん、予選会で惜しくも敗れ出場を逃したチームの、今後の活躍が楽しみである。

最後に、会場の手配に奔走して下さった市川・浦安地区の先生方、TO や会場準備など、試合がなくとも運営に尽力した生徒の皆様、支部外からお手伝いいただいた先生方、バスケットボール関係者の皆様のご協力により大会を無事終えられたことに、心より感謝申し上げたい。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部
記録・報道係 中村 圭吾（四街道中）